

松岡莉子

人から人へと伝えられてきたスコットランドの音楽。

今回のコンサートでは、現地で古くから演奏されてきた伝統曲、そして、その伝統を受け継ぎ、今を生きる音楽家が作った新しい伝統曲の数々をお届け致します。

スコットランドの伝統曲は、数曲をつなげてメドレー形式で演奏されることも多く、ぜひ曲の移り変わりにもご注目ください。

スコットランド伝統曲：広い河の岸边

16世紀頃から伝えられているスコットランド民謡。日本では2014年に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」や「マッサン」などで挿入歌として用いられ、その美しいメロディが注目を集めました。歌詞の内容は、試練にさらされる愛を描いています。

F. マクドナルド：ジグ《ラン・リグ》

G. ダンカン：ラムニー・ケイリィ

1曲目は「ジグ」という8分の6拍子の伝統的なダンスのリズムの曲です。こちらの曲は、スコットランドのパブで行なわれるセッションでもよく耳にします。そのあと、「リール」という速いリズムで奏される《ラムニー・ケイリィ》が続きます。

スコットランド伝統曲：お気に入りの夢

B. リング：リスナグン・ジグ

1曲目は現地の言葉であるゲール語の歌詞がついている伝統的な曲です。2曲目の《リスナグン・ジグ》は、イーリアンパイプ奏者で、ハープ奏者でもあるブレンダン・リングによって作曲された曲です。2019年にブレンダンの自宅が火事に見舞われた際は、スコットランドやアイルランドの音楽家が《リスナグン・ジグ》を演奏し、寄付を募る運動が広まりました。この2曲は無印良品のCD『BGM7 Scotland』にも収録されています。

スコットランドの釣鐘草

戦争に徴兵されていった恋人を思い、彼の帰りを健気に待つ女性の心境を描いた曲です。日本では明治14年頃に「美しき」という邦題で紹介されています。

アラン・ボートソング

帆を広げた船

1曲目は、スコットランドのアラン諸島に伝わる曲です。そのあと、スコットランド本土の北170kmにあるシェットランド諸島の伝統曲《帆を広げた船》が続きます。

J.S. スキナー：子守歌

スコットランド国立美術館が開館した1859年頃に活躍した作曲家ジェームズ・スコット・スキナー（1843-1927）の美しい子守唄です。

スコットランド伝統曲：今すぐ結婚して／グレンリベット

《今すぐ結婚して》と《グレンリベット》は、ともにスコットランドの伝統曲であり、スコットランド留学中にハープ奏者のコリーナ・ヒーワットから学びました。ちなみに、グレンリベットのあるスペイサイド地方は、多くのウイスキー蒸留所があることで有名です。

J.S. スキナー：ヘクター・ザ・ヒーロー／ファイフ公爵のディーサイドへの歓迎／左ききのヴァイオリン弾き

作曲家であり、フィドル奏者でもあった J.S. スキナーの曲を 3 曲続けてお届けします。

スコットランド伝統曲：美しいドゥーン川の岸边／銀の槍／マッカーサー・ロード

1 曲目はスコットランドの国民的詩人ロバート・バーンズ（1759-1796）によるスコットランド民謡です。そのあと速いリズムの「リール」のダンス曲が 2 曲続きます。